



年間テーマ	・砂の探究
探求テーマ	・砂に触れる

子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しそうなことをしていると興味を示し、「一緒にやりたい」と続々と仲間に入って遊ぶ。 ・友達が困っている時にはそっと手伝う等思いやりを持って一緒に遊ぶことができる。
「問い」を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を出し合い、何を作るのか、砂をどのように使うのか。
活動をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・一人の遊びから数名へと人数が増え、友達と協力して遊ぶ。
環境をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な形や長さの玩具を用意する。 ・好みに作ることができるよう広い環境を整える。
小グループを構成する	<ul style="list-style-type: none"> ・一人から集まってきた友達と協力して自由に遊ぶ。
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を聞いたり、様子を見たりして協力しながら遊ぶことができた。作ったものを川、砂を水に見立てて、ただ入れるだけでなくその周りに玩具を置いたり、付け加えたりすることで自分達の町を作ることができていた。砂遊びから大きく想像を膨らませ見立てて遊ぶことの楽しさを感じることで活動になっていた。

子どもの言葉・姿	写真
<p>(1)</p> <p>「おもしろそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達がやっている遊びを見て数人が集まり、一緒に遊びだす。バランスが難しい部分は友達同士「バケツを置いたら?」、「一緒にやろう」と言葉を掛け合いながら遊ぶ。 	<p>(1)</p> 
<p>(2)</p> <p>「砂を入れてみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長くつながった玩具に砂を入れてみる。バケツで砂を入れると一回でたくさん砂が入れられることがわかり、バケツリレーのように砂を入れる。 	<p>(2)</p> 
<p>(3)</p> <p>「これも使おう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繋げたものを川に見立てて、トンネルをつけたり、「家にしよう」と置いてみたりすることで街のようなものが完成した。 	<p>(3)</p> 